



世羅高 同窓会報

発行
 広島県立世羅高等学校
 同窓会
 世羅郡世羅町本郷870番地



第17号発行によせて



同窓会長 小島 敏文
 (昭和44年生)

同窓会員並びに地域の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと拝察お慶び申し上げます。

さて、平成二十一年に同窓会改革検討委員会を立ち上げ、はや六年が経過致しました。

瀬尾圭三同窓会副会長をはじめ、役員、常任理事の皆様のご努力により、同窓会規約の大幅な改革を行い、平成二十三年度を同窓会改革元年として総会を開催し、百七十名の参加者、そして平成二十四年度には二百名、平成二十五年度には二百五十名、平成二十六年には二百五十八名と参加者も増え大変うれしく思っております。当番幹事制度

を取り入れた事は総会活性化に大きな弾みとなりました。当番幹事さん(二年度が一組となり当番幹事を務めることになっていきます)は、一年前から準備に入り、事前に参加券の販売に取り組みと同時に総会の運営も行っていただいています。総会の活性化が大きな目標でありました。今日までそれぞれの仕事を持たれながら、何回も時間を割いて会議等ご協力戴いております。役員・常任理事・当番幹事の皆様方にあらためて心より感謝申し上げます。

来年は世羅高等学校創立百二十周年を迎えます。昨年十二月より記念事業実行委員会・各専門委員会を設置し、既に七、八回の会議を開催し準備を進めていただいております事をご報告させていただきます。

ところで世羅高校の歴史は、旧制世羅中学校・旧制甲山高等学校が統合し世羅高等学校と変遷してきたことは皆様ご承知の通りであります。その前身である千葉三郎先生の創設された私塾甲西会の出来た月日は、今日まで不明でありました。しかし、今回明治二十九年九月二十二日に創設されたことが判明致しました。どうして分かったのかは、来年の百二十周年の記念式典で申し上げたいと思いま

す。また、明治三十年には甲山高女の前身である、私立裁縫所が多田道子先生により創設されたことも忘れてはいけません。歴史と伝統ある世羅高校と喜んではかりではおれません。少子化の中で子どもが減少し、学校の存続が危ぶまれる大きな岐路がやがて来ないとも限りません。世羅高校には普通科・農業経営科・生活福祉科があります。

今ある科をうまく活用して生徒が世羅高校へ行って勉強したいと思うような魅力を作れないか。国は今、日本の農産物・食品を海外へ一兆円輸出する、成長産業とする事を目指しています。(現在農産物・食品輸出額六千億円超)学校教育法第五十八条「高等学校には専門科及び別科を置くことができる。」となっております。今後世羅高校が百三十七周年・百四十周年と継続発展して行く為に、例えば農業経営科(三年)・専攻科(一年以上)又は別科(一年以上)を設置し、農産物・食品を世界へ輸出出来る経営力のある農業者を育成する事に取り組むのも一方法ではないか、と考えるのであります。皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



世羅高に赴任して



校長 堀 健太郎

この度、国内においても有数の歴史と伝統を誇る世羅高等学校長を拝命しました。

同窓生をはじめ地域の皆様におかれましては、平素から本校教育活動に多大なるご支援とご厚情を賜り心から感謝申し上げます。

本校は今年度、創立百十九年目を迎え、来年度の百二十周年(記念式典：平成二十八年九月二十四日開催)に向け、同窓会を中心に実行委員会を設立し準備を進めているところです。また、本館も昨年解体され、年明けには世羅台地を囲む山並みを「ゲザイン」した素晴らしい新校舎が完成予定です。広島県教育委員会からは、新たな教育を創造するため全国に先駆けて推し進める「広島版『学びの変革』アクションプラン」において、そのリーダー的役割を担う県内十八校のパイロットハイスクールに指定されました。更に二〇二〇年東京オリンピックに本県選手を送り出す施策である「競技力向上陸上競技拠点校」としても指定され、まさしく校訓「文武不岐」を

践している本校に、教育界はもとより広島県民からも大きな期待が寄せられています。

日々の教育実践では、普通科、農業経営科、生活福祉科の全学科とも生徒一人一人を大切に

した教育活動を推進し、京都大学、一橋大学、早稲田大学などの難関大学をはじめ国公私立大学に多数送り出しています。更に農業経営科では、世羅台地の中心的産業である農業の担い手を輩出するため、地域との連携を深化させ、生活福祉科では、今年度から県内唯一となる介護福祉士実務者研修を開催し、即戦力となる福祉人材を送り出しています。また、台湾、アメリカ、ケニアとの修学旅行や短期留学、専門学科への生徒受け入れなどの相互交流を通してグローバルな人材育成にも力を入れています。

校長として今年度の重点目標は三つあります。一つ目は全学科入学者選抜志願倍率一・〇%以上達成。二つ目は進路希望一〇〇%達成、三つ目は全ての部活動の活性化及び全国高校駅伝男子二連覇、女子初入賞です。その目標に向け日々の教育活動は元より、地域の中学校を訪問し、本校の教育内容をきめ細かく情報提供するとともに、中学生や保護者の皆様から本校へ期待される教育内容を把握し、環境整備も早急に図つてまいります。

私事になりますが世羅は憧れの高校でした。中学三年時、県中学駅伝で準優勝した年、世羅は全国高校駅伝において新記録で四度目の優勝を飾りました。私は当時の監督から勧誘を受けましたが諸事情により他校に進学しました。その後も陸上競技を続けました。「世羅で全国高校駅伝を走りたい」という思いは消え去ることはありませんでした。それから三十二年、平成十八年五度目の優勝を飾つたメンバーの中に長男がいました。長女も全国を走り、二人とも自ら世羅を選びました。その世羅に校長として赴任することに深い感慨を覚えます。

本校に対しまして同窓生をはじめ地域の皆様には、引き続き温かいご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十六年度 総会を振り返って



平成26年度当番幹事長 宗岡 雅文 (昭和47年卒)

昨年七月十二日(土)あれから、早一年経過するんですね。あっという間の一年でした。平成二

十六年度の同窓会幹事長に指名されてから不安を持ちながら時間が過ぎて行きました。世羅高同窓会第一回の役員・理事・幹事合同会が開催されるまで地固めの為、同級生に集まって頂き手助けをお願いし、まず支えて頂ける仲間作りから進める事としてまいりました。

第一回同窓会役員理事と当番幹事会では、前年の幹事長と同窓会事務局の方の経験を参考にスケジュール等大枠を作り説明、参加者三〇〇名を目標にして、平成二十六年度の幹事体制のスタートとなりました。前年の幹事の方と共に、ポスター作成配布、チケット作成販売と本格的にスタート、チケット四〇〇枚作成、役員・理事・幹事の持ち分は五枚で、売れると思つていたチケットも意外と売れなく販売の難しさを感じました。

第一次集約では九十五枚しか出ていませんでした。これで大丈夫かと不安に駆られました。まだ三分の一しか出ていない不安の中で「昨年も一次集約はこんなものよ」と事務局の佐々木さんの声に元気を頂きました。二次集約に向け役員・理事・当番幹事会の皆さんに奮闘して頂くようお願いしたのでした。そして二次集約・最終集約には二百五十七名の参加予定者を確保することができたのです。本当

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場
アラタニ・オート(株)
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977
スズキ車のことなら スズキ株式会社 正規副代理店 東中国スズキグループ
スズキオートSHOP
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

感性が光るアートな写真
残しておきたい思い出の写真
アート写真光房
阿部写真館
世羅町本郷
TEL:0847
22-0213
http://abe-cameraman.com/
Eメール: photoabe@orange.ocn.ne.jp

に關わって頂いた皆様方の底力を見せただきました。何とか前回の人数を下回る事なく当日を迎える事ができたと思いません。お土産のジャムは世羅高生徒さんの加工品、そしてせらワインリーのワインのセット作り、会場の席作りは前日都合の取れる当番幹事とシルバー協会より数名派遣して頂き致しました。二百五十七席分は会場ぎりぎり設定となりました。

会場作りもできあがり、いざ当日を迎えました。受付は十時から三十分早めの開始でゆとりのある受付ができたと思います。総会に入り議事進行も予定時間内に終了、母校紹介では在校生の吹奏楽部演奏他、教育・クラブ活動の報告等をして頂きました。今後も続けてほしいと思います。心配して頂きました天気も良く、外での写真撮影もでき、会場内の懇親会の準備も飲食組合の協力を得て出来上がりました。アトラクションは、宇津戸獅子舞同好会の皆様による伝統芸能宇津戸獅子舞のご披露をして頂きました。出席者の皆様から太鼓の響きと獅子舞に大きな喝采がわき起こりました。恒例となりましたお楽しみ抽選会、皆さん自分の番号を確認され、ちよつぱり緊張感漂う中、番号札を呼び上げる瞬間の歓声、今後も抽選会続けてほしいです。

ね。この年の暮れ、世羅高陸上部全国高校駅伝制覇。「駅伝の世羅」のイメージを高め同窓生として誇らしく思えます。駅伝といえはタスキ、しつかり繋いで二連覇達成してほしいと思います。同窓会もしつかり会を盛り上げ、駅伝のタスキの様に繋いでいってほしいと思います。



**創立百二十周年を
迎えます**



世羅高校創立百二十周年記念事業
実行委員会 実行委員長
同窓会副会長 瀬尾 圭三

(昭和36年卒)

同窓生はじめ地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年同窓会「総会・懇親会」は、

規約に則り七月第二土曜日(十一日)の開催で大谷敏朗幹事長さん(昭和四十八年卒)のもと幹事グループF・Gの皆さんが当番幹事として懸命に取り組んでいただきました。今年と同窓会改革五年目になりますが、過去四年間の幹事の皆さんが築いていただいたノウハウをしつかり受け継ぎ、極めて合理的に推進していただけるようになりました。今年の参加数の目標は三百名です。目標達成に向けて同窓生の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、母校世羅高校は明治二十九年九月二十二日千葉三郎先生により私立学校甲西会を創立され、幾多の変遷を経て来年初立百二十周年を迎えます。

県立学校八十四校ある中で、創立百二十年を迎えている学校は世羅高校を含めて僅か五校しかありません。世羅高校は文字通り歴史と伝統に輝く学校です。そこで来年を創立百二十年の記念すべき年とし記念事業を行うため、「世羅高校創立百二十周年記念事業実行委員会」を設置し同窓会・学校・PTAが一体となって取り組むこととなりました。

実行委員会(組織は別表参照)は、五つの専門委員会と事務局で構成しました。これまで実行委員会は八回、各専門委員会は

八回前後協議を重ねて鋭意検討をしてまいりました。記念式典及び記念事業は来年、二〇一五年(平成二八年)九月二十四日(土)に実施いたします。

各専門委員会でのこれまでの検討内容は同窓会役員会・常任理事会で承認していただき、また、同窓会報をおしてこれまで決定された内容を概略ご報告いたします。

(一) 記念誌編集専門委員会

創立百周年時に記念誌が発刊されました。爾来二十年が経過しましたので、過去二十年間を振り返って、学校の二十年、各年次の出来事、関連事項、その他を網羅し編集することになりました。学校の内容が多くを占めることから、学校に記念誌編集のためのプロジェクトを編成していただき、万全な体制で推進していただいております。なお、記念誌頒布は、記念式典等を掲載しますので式典終了後一か月以内を目途としております。

(二) 記念事業専門委員会

現在本館を建て替え中で、来年春には完成の予定です。記念事業は、新館中央、玄関の上部の外壁に校章を寄贈することにいたしました。そして全校生徒、全教職員、式典参加者全員に記念品を贈呈いたします。

(三) 名簿委員会

同窓会名簿は二〇〇六年一月

一般鋼材・ステンレス・アルミ各種加工

上野鉄工所

上野 悟(昭和52年卒)

〒722-1112
広島県世羅郡世羅町本郷36-3
TEL&FAX (0847) 22-1322

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

本社

〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL0847-22-2121
世羅バイパスSS
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL0847-22-1151
世羅配送センター
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL0847-22-1136

に発行されましたが、この名簿は多くの同窓生の住所・名前等が昔のまま掲載されており、残念ながら更新は不十分です。百パーセントの更新は不可能としても可能な限り把握、更新管理は同窓会として責任があります。二〇〇三年五月個人情報保護法が制定され、以後名簿類の発行は難しくなりました。名簿を発行するか否かを検討する以前に同窓会としては大きな課題があります。

名簿の管理は極めて困難な任務ですが、同窓会に設置している「会員・名簿委員会」と連携し地道に進めていくしかありません。

両委員会から卒業生の皆さんへ協力要請がありましたらご協力のほどよろしくお願いいたします。

(四) 記念式典・記念祝賀会専門委員会

周年行事は度々経験するものではありませんので、他校の記念式典・記念事業・記念祝賀会を参考に検討いたしました。同窓会としては記念式典・記念事業のみで記念祝賀会は行わないことになりました。

記念事業は、記念式典、広島交響楽団による記念芸術鑑賞会、百二十周年記念誌発行、新校舎への校章設置、百二十周年記念品贈呈です。

(五) 募金活動専門委員会

当委員会の任務は各専門委員会で検討された事業で掛る必要経費を積算し、その合計が募金目標額として設定し、同窓生の皆さんをはじめ、広く地域の皆様にも募金をお願いをします。募金額は一口五千円で、できれば二口以上お願いいたします。二口以上募金していただいた方には記念誌を贈呈いたします。

以上がこれまで実行委員会で検討し決定されたものです。創立百二十年は学校・同窓会にとつては大きな節目となります。実行委員会を中心に同窓会・学校・PTAが一丸となり、一連の事業が成功しますよう取り組んでまいります。この度の周年事業が母校の発展に繋がることのできるならば望外の喜びとするところでです。

同窓生および地域の皆様のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。次第です。



世羅高校創立120周年記念事業 実行委員会



1. 実行委員会専門委員会

実行委員会委員長	瀬尾 圭三 (同窓会副会長)
実行委員会副委員長	堀 健太郎 (学校長)
	内海 智子 (同窓会代表理事)
	和泉 秀宣 (PTA会長)
記念誌編集専門委員会委員長	大田 良晴 (同窓会副会長)
記念誌事業専門委員会委員長	阿部 玲子 (同窓会副会長)
名簿専門委員会委員長	長久 信 (同窓会常任理事)
記念式典・記念祝賀会専門委員会委員長	福原 正明 (同窓会代表理事)
募金活動専門委員会委員長	近田谷正治 (同窓会副会長)
事務局長	長岡直寛 (学校：教頭)

2. 実行委員会専門委員会

委員会名	委員長	副委員長	同窓会委員
記念誌編集 専門委員会	大田 良晴	平垣内隆 (同窓会常任理事) 岡野真知子 (学校)	石原正俊、伊藤陽康、内海智子、宮本嘉郎、平垣内隆
記念事業 専門委員会	阿部 玲子	松島延江 (同窓会常任理事) 植田宏明 (学校)	神田正史、坂上栄樹、藤井浩則、松島延江、龍田政明
名簿 専門委員会	長久 信	玉浦洋明 (同窓会副会長)	玉浦洋明、大谷敏朗、西原誠喜、秦 良子、森宗有香
祈念式典・記念祝賀会 専門委員会	福原 正明	篠原博徳 (学校)	小林新高、助迫慎治、瀬尾圭三、松浦邦夫、光元信能
募金活動 専門委員会	近田谷正治	白雲勝幸 (同窓会常任理事)	竹内政彦、白雲勝幸、寺田宣文、井口孝明、上野 悟、梶谷正明、神田敬州、波田幸代、吉本恭三
事務局	事務局長 長岡 直寛	次長 加藤雅彦 (学校事務長)	松田富枝

*学校、PTAの委員は紙面の都合上、一部省略しております。

株式会社 實徳コーポレーション
 [総合警備保障事業]
 TEL (0847) 25-5271

株式会社 J T C
 [人材派遣事業]
 TEL (0847) 22-0500
 〒729-3302 広島県世羅郡世羅町川尻1288-1
 FAX (0847) 25-5272 (共通)

いつでも電話でお気軽に
総合建設業

(有)坂上建設

TEL 23-0231(代)
 世羅町宇津戸3453-1 FAX 23-0232
 夜間 23-0511



一、総務委員会

委員長 瀬尾 圭三
(昭和36年卒)

総務委員会は、平成二十六年年度から「同窓会改革第二期」の実現に向けて取り組んでいます。如何せん担当者全員が百二十周年記念事業へ全力を傾注しているためこのことは総務委員会に限らず全ての委員会共通。改革に向けての取組みがままなりません。「同窓会改革第二期」の最大の課題は、主要都市に支部を結成若しくは再編成することです。

県内の多くの伝統校は、主要都市に支部が結成され、同窓会活動の重要な役割を担っています。母校も主要都市に支部を是非設置したいとの思いで働きかけをしていますが、支部長候補者が見つかりません。適任者はおられるはずですが、残念ながら人間関係、人脈が乏しいため困難を極めています。卒業生の皆さん、適任者をご推薦ください。広くご意見をいただければ幸いです。支部長が決まりましたら事務局設置の作業になります。これは比較的容易ではないかと考えております。現在三原支部について、新歩一昇さん(昭和三十八年卒)を支部

長に推薦していただいておりますので、支部結成に向けて取り組んでいただいているところです。

三原市内居住の皆さん、結成にご協力くださいますようお願いいたします。

二、財務委員会

委員長 近田谷 正治
(昭和42年卒)

昨年度の同窓会一般会計及び特別会計の執行状況と本年度予算案に関して、昨年度は同窓会館のカーテンの模様替え等を行っていません。各種会議等での同窓会館の使用が活発になっていくところですが、会員をはじめ関係者の皆さん方のコミュニケーションの場としての活用を期待しています。

本年度の予算に関しては、来る創立百二十周年記念事業にむけて予備費を増額しています。なお、今後必要に応じて特別会計からの支出も予定しているところです。先人の足跡をふりかえり感謝しつつ、さらなる本校の発展を願うところです。

三、広報委員会

委員長 大田 良晴
(昭和37年卒)

広報委員会は「同窓会報」の発行を中心として取り組んでいます。七月第二土曜の総会日発行となり、慌ただしい編集作業となっています。

来年は「創立百二十周年記念特集号」としての発行となります。委員全員力を合わせて頑張りたいと思います。

四、事業委員会

委員長 阿部 玲子
(昭和29年卒)

いつもにこやかに挨拶して下さる生徒さんに、微笑ましく、嬉しく思っています。卒業式、入学式の時の接待も、生徒さんの素晴らしいおもてなしに感動しました。事業委員としましては、百二十

周年へ向けての準備に取りかかっております。百二十周年記念品として、何がよろしいか生徒さんからアンケートの回答をいただいたり、先生方の御意見をお聞きしたりしています。また百二十周年記念として、学校に残す記念品についても検討したり、ご意見を伺ったりして会議を開いております。そして、生徒さんと共に感謝の気持ちいっぱい、迎えたいと思っています。

五、母校振興委員会

委員長 波田 幸代
(昭和37年卒)

当委員会は、当初よりクラブ活動の支援、特に陸上競技部育成のため取り組んでいます。

また、学校の各行事に参加するなど、学校との連携強化に一層の努力をしたいと思っております。

六、会員名簿委員会

委員長 玉浦 洋明
(昭和49年卒)

名簿委員会の活動につきまして同窓生の皆様にはご協力を頂きたいと思っております。

三年間続けました還暦同窓会の案内も、諸事情により案内送付をやめさせて頂きました。三年間続ける中で変更がありました所は、同窓会の名簿データを変更させて頂きました。

来年百二十周年を迎えるにあたり、新たに名簿委員会を立ち上げ準備をすすめております。皆様のご協力をお願い致します。

これからクラス会、学年会を持たれる場合、同窓会へ住所データがありますので活用をお願い致します。同時に、同窓生の住所変更がありましたら同窓会事務局へ連絡して頂ければ幸いです。同窓会のデータは決して公開していませんので次回名簿作成時に利用させて頂きますが、ご本人様より非公開希望の場合は同窓会のみでの管理とさせて頂きます。連絡はお手数ですが郵送にて同窓会事務局(高校内)へお願い致します。



進物の玉浦

☎0847-22-1107

FAX.0847-22-1567



〒722-1121
世羅郡世羅町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休



手造りのおもてなし
法事・慶弔料理・仕出し・宴会の予約承ります

ファミリーレストラン

タイニー

世羅郡世羅町西上原483-3

TEL (0847) 22-0322 FAX (0847) 22-0405

http://www.fr-tiny.co.jp/

ニューヨーク姉妹校との 国際交流支援活動

NPO 世羅国際交流

教育ネットワーク

代表 上野 悟
(昭和52年卒)

本NPOの設立以来会長としてご尽力を頂いた瀬尾前会長のあとを受けて今年度から会長をさせて頂いた皆さま上野です。どうぞよろしくお願ひします。

同窓会会員の皆様にはいつもご支援ご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、このNPO法人は世羅高校とNYのソントン・ドノバン校との交換留学支援を目的として設立され、今年で七年目になります。今までに三十二名の生徒がNYに留学し、こちらに受け入れた生徒も42名になりました。多くの生徒達が英語でのコミュニケーションや海外での家庭の生活などの貴重な体験をし、受け入れた家族にとっても留学生との心のふれあいなどとても良い経験になっています。ちなみに、平成二十六年には五名の生徒を受け入れ、十名の世羅高生が留学をしました。が、来日した生徒との交流行事や留学した生徒の体験発表等を通じて、この行事は世羅高生全体の国際理解への意識付けとなつています。また、受け入れに関しては、地元との教育関係者や企業にも大変

お世話になっておりますが、地域の皆様のご支援や広島での原爆資料館などの見学などがドノバン校の生徒たちに世羅という町への愛着心と平和学習への関心を育んでいます。この場を借りて篤くお礼申し上げます。

これらの経験を個人のものに終わらせることなく、駅伝で糧をつなぐがごとく多くの方に受け継いでいくことが何より大切だと思っています。会員の皆様及び地域の皆様には今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

世羅高校国際交流 推進会議報告

会長 小島 敏文
(昭和44年卒)

この会は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社会教育、文化活動等の相互交流を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成され、以来十四年間、ケニア共和国からの留学生の受け入れ、台湾「大同高級中学」との交流を進めてきました。お陰様で会の活動も円滑に進み、着実にその成果も現れていきます。

とりわけケニア人留学生の活躍は目覚ましいものがあります。生活態度はまじめで、陸上競技に対する情熱はすばらしいものがあります。

日本人選手が受ける影響も大きく彼らと練習を共にすることで、競技力・人間性が向上しているものと思ひます。

今年度は二名(一年生・三年生男子)の留学生を受け入れていきます。彼らの日本での生活費はこの会の会費から捻出されています。同窓会の皆様方には、全国大会出場時の寄付等でもご支援いたたいっており、誠に恐縮ではありますが、この会の趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学校だより

①進路指導部

昨年度(平成二十六年)卒業生の最終的な進路は、四年制大学三八名、短期大学四名、専門学校四二名、就職(公務員を含む)は二九名でした。神戸大学をはじめとする国公立大学の合格者は十二名、難関私立大学へはのべ四名が合格しました。国公立大学については、センター試験で数学及び理科が新課程となり、難易度も高かったことから、昨年度同様、文系の生徒に厳しい入試となりました。そのような状況の中で、生徒は最後までよく頑張ったと思ひます。普通科卒業生数に占める国公立大学合格者の割合は、二一%であり、「五名に一名は国公立大合

格」という結果となり、前年度を上回る事ができました。専門学校進学者については、医療系を中心に、自分の目指す職業に直結する学校をしっかりと選んで進学しました。就職に関しては、景気回復が見られ始めたという情勢の中で、求人数は前年度より大幅に増加しました。しかしながら、全体の就職希望者の増加や企業側の厳選姿勢もあり、簡単に内定が得られない状況が続いています。そのような中で、就職内定率一〇〇%を達成しました。

子どもの人口が減少している一方で大学数は増加しており、大学全入時代に突入しているという状況となっております。人気の大学とそうでない大学との格差が広がっているとも言われています。選ばなければどこかの大学に「合格できてしまう」という状況もなっています。しかし、大学卒業後の就職活動においても、学力を重視する流れが強まっているという情報も耳にします。進学希望者は学校選びが非常に重要となっております。「受かりやすい」「早く決めたい」といった理由で安易に志望校を決めてしまわず、自分に合った学校をしっかりと見極め、少しでも高い目標を目指して努力し、その希望が実現できるように指導していきたいと考えています。

また、就職希望者にあつては、自分の適性をよく考えつつ、本当

スーパーマーケット

日谷屋

御調店・大和店・パオ店

記念写真・証明写真・空撮
カラープリントスピード仕上げ



橋本写真館

世羅郡世羅町東神崎 355-4 TEL(0847)22-0157

<http://www.hashimoto-photo.jp/> または 世羅 橋本写真館 検索

に自分を生かすことができる職場がどのような職場であるかを考えること、働くとはどういうことかをしっかりと考えることが大切となってきました。意識向上の取組みを続けていきたいと考えています。

本校では今年度も放課後や長期休業中の補習・世羅塾などを通して学力向上に努めるとともに、面接指導などを繰り返し、就職に向けた指導も行なっています。進路指導部をはじめ、全教職員で生徒の進路実現に向け努力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

② 農業経営科

農業経営科の指導目標は、農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得すること、チャレンジ精神や地域の農業や社会に貢献できる実践的な態度を育てることを目標としています。

教科学習では、第一学年では農業の基礎的科目を学習し、第二学年からはより専門性を深めるため類型別(地域営農類型、六次産業類型)に分かれ学習の深化を図っています。第三学年では、第一学年第二学年の学習を基に地域や農業に関する課題を解決する調査や研究活動を行っています。昨年度の教科「課題研究」の研究題目は「世羅産大豆の商品開発に関する研究 Part II」世羅産大豆を使用した納豆作成キットの開発」

「地域交流を目指したピザ釜製作の実際」「カステラの製品化を目指して」「オゾン水が植物に与える影響」でした。



このように学習の取組も充実しつつ、農業の研究や実践活動を通して、生命の大切さや地域に愛着の心をもち地域貢献に取り組む積極的な姿勢も見えてきました。

最新の設備を備えた食品製造棟では、ビスケットやジャムなどの加工・製造は勿論のこと、地域の農産物を練り込んだ商品開発にも取り組んでいます。農場では、新設された環境制御温室や農業実習室を活用しながら、ブドウ根域制限栽培、イチゴの高設栽培、ブルーベリーの栽培に取り組んでいます。

進路では、多くの農業経営科卒業生が地元で活躍し、中でも昨年度は世羅町観光協会や世羅アグリパークへの就職を果たすことができました。

これらの取組を通して地域を盛り上げ、地域を活性化し地域に愛着心をもった生徒を育てたいと思

います。まずは一歩ずつ、そして「農業科」の先輩方が築かれた歴史に近づくよう、努力していきたいと思えます。

③ 生活福祉科

生活福祉科では、栄養や調理、ファッション、情報処理、保育、福祉、ビジネススマナーなど、生涯にわたって必要となる生活に関する知識と技術を身に付け、生活産業のスペシャリストとして社会に貢献できる人材の育成を進めています。そのため、高度な資格の取得を目指して介護職員初任者研修、ビジネス文書検定・情報処理検定・サービスマスター検定・家庭科技術検定などを継続して実施するとともに、地域交流・ボランティア活動を積極的にを行い、働くことの大切さや喜びを学び、高齢者や子どもとの触れ合いなどの活動を通して、地域の福祉に貢献できるよう取り組んでいます。

今年度は、これまで実施してきた介護福祉士国家試験受験資格の養成が、法の改正により現三年生で終了するため、二年生より新たに介護福祉士実務者研修の実施を始めます。これは広島県の高등학교では唯一の取組であり、地域福祉の担い手の育成につながるものと期待しています。

夏休みには、一年生が三日間のインターンシップ(就業体験実習)、福祉類型では、二年生が五日間

三年生が十日間の介護施設実習に行かせていただきます。同窓会や地域の皆様には大変お世話になりました。今後ますますのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

④ 全国高校駅伝優勝報告

昨年十二月に行われた、第65回全国高等学校駅伝競走大会では、高校歴代4位、2位との差1分57秒、2時間2分39秒というタイムで、3年ぶり8度目の優勝を飾ることができました。

大会を振り返ってみると、1区新迫は「自分がうまく走らなければ」というプレッシャーと戦いながら冷静に走り、区間6位、トップと11秒差という好位置で棒をつなぎました。2区キャプテンの笠井は、「自分たちの走りをすれば優勝できる」と順位を上げることができませんでした。3区は、堅実に区間4位で走り3区のカマイシに棒を渡しました。6位で棒を受けたカマイシは、後半ペースダウンした昨年の経験を生かして、オーバースペースにならないように気を付けて走り、先頭に立ち2位に51秒差をつけて4区中島に棒を渡しました。中島は昨年アンカーで4位に敗れた悔しさを胸に、「自分の走りで勝負を決める」という決意で、区間賞を獲得し2位との差を1分40秒にまで広げる素晴らしい走りです。5区山口はプレッシャーを

OA 機器・事務用品・学用品
 オフィス家具・教材教具・教科書

コクヨ 森田尚文館 特約店

森田 努 (S29年卒)
 森田 剛 (S57年卒)

世羅郡世羅町 TEL 22-0136(代)
 FAX 22-3051

株式会社 もみの木畳店

世羅郡世羅町小世良380

TEL (0847) 22-1426
 FAX 0847-22-1893
<http://www.mominoki-tatami.com>

感じさせないのびのびとした走り
で今年も区間6位と堅実に標をつ
なぎました。6区井上はこの1年
で急速に力を付け、安定感もある
選手で、トップで来ることを想定
し、後輩のアンカー吉田に少しで
も楽に走ってもらうために、積極
的な走りでの区間賞を獲得し大差を
つけて吉田に標を渡しました。ア
ンカー吉田は先輩たちが作って
くれた貯金のおかげで、のびのびと
区間2位で走り3年ぶり8度目の
テープを切ることができました。



メンバー10名中7名が残る今年
は、王者の誇りを胸に第1回・第
2回大会以来の連覇を目指して、
より一層精進し、11月の県大会を
無事クリアして12月の都大路を目
指していきたいと思えます。

同窓生はじめ地域の皆様方
には、後援会への寄付等でもいつもお
世話になっておりますが、今後とも
も絶大なご支援をいただきたい
と思えますので、どうぞよろしく
お願いいたします。

同窓生だより

「世羅から世界へ」



中国電力陸上部
監督 坂口 泰
(昭和55年卒)

中国電力陸上部の監督になって
二十四年経つ。甲山中学校時代か
ら四十年以上、長距離・マラソン
に関わってきたことになる。思い
もよらない人生だが、世羅で生ま
れ育つことがなければ無縁の世界
であったことは違いない。

新畑茂充監督のもと、全国高校
駅伝で二度の優勝を果たした世羅
高校陸上部は憧れの存在であつ
た。世羅高校で都大路を走り、広
島大学に進学し教員になろうと考
えていた私は、宮広重夫監督に代
わった陸上部に迷わず入部した。

しかし、全国を制したチームは
思った以上に厳しかった。とりわ
け大変だったのが鉄棒補強。手の
皮がむけ、鉄棒をさわるのさえ痛
かった。とんでもないところにき
てしまったと思つたものだ。

一年生の秋には青森国体少年B
三千メートルで三位に入賞するこ
とができた。この大会で全国で勝
負するという意識が芽生えたよう
に思う。三年生ではインターハイ

千五百メートル、国体五千メー
トル、全国高校駅伝一区で全国一に
なることができた。

三年生の夏まで地元に残ること
を考えていたが、瀬古利彦選手を
育てた中村清監督が世羅に來られ
たことで、早稲田大学に進学する
ことになった。監督は厳しいこと
で有名だったが、それは聞きしに
勝るものだった。何度やめたいと
思つたか分らない。結局オリン
ピックに出ることはできなかった
が、監督のもとで世界と戦う覚悟
を叩き込まれたと思う。この経験
がなければ、油谷繁、尾方剛、左
藤敦之選手をオリンピック選手に
できなかったらう。

中国電力陸上部は二〇〇七年の
二ユーイヤー駅伝優勝を最後に過
渡期に入った。しかし再び、優勝
を目標に掲げることができるよう
になってきた。その原動力は、当
社陸上部の黄金期を間近で見て育
ち、中国電力で陸上競技をやりたい
と思つてくれた世羅高校出身の
選手である。東京に残りたい選手
が多い中で、北魁道、藤川拓也を
はじめとする六選手は迷わず来て
くれた。

世羅高校出身のオリンピック日
本代表はまだいない。「世羅から
世界へ」。東京オリンピックに向
け、指導者人生の集大成として世
羅高校出身のオリンピック選手を
育てたい。

地域だより

東京校友会

会長 吉宮 孝治
(昭和42年卒)



昨年十一月
の総会で、十河
会長が退任され
ました。この六年
にわたるご指導
に謝意を表する
と共に、皆様に
は今後とも前会
長同様のご支援
ご鞭撻をお願い
致します。

東京校友会の主な活動は、年二回
の会報発行、親睦会、十一月開催の
総会等となっております。今年に入
り、一月十一日「日本橋七福神巡
り、一月二十五日 平成二十七年
度 第一回拡大役員会開催(役員の役割
分担及び計画等を決定)、四月十二
日 会報「とうきょう世羅」第四十号
の発行等を行いました。また、十一
月十五日(日)正午からは東海大学校
友会館(霞ヶ関ビル)において総会を開
催する予定です。陸上競技部への応援
賛助金も引き続き募集しており、十
二月には西京極陸上競技場での連覇
を楽しみにしております。

(計報 東京校友会会長として十六
年間ご指導いただいた秦 典三殿が
去る四月二十八日に逝去されまし
た。ご生前のご遺徳と温容を偲び、心
から冥福をお祈り申し上げます。

近畿同窓会



会長 松尾 千九三
(昭和25年卒)

年末の全国高校駅伝大会には、毎
回満員の応援団席から、一喜一憂し
ながらの応援には自ずと力が入り、一
時はどうなることかの心配が、感謝と
喜びに変わるドラマは筆舌に尽くし
難いものがあります。電光掲示板に
刻々と映し出される順位とタイムを
気にしながらの応援は、また格別のも
のです。そして閉会式終了後、宿舎に
行き選手一人一人を有難うの握手で
称え、会食をして別れる時、今の気持
ちを心に刻んで、力強く羽ばたいてく
れることを祈って帰宅します。

最後に皆様をお願いしたいことがあ
ります。関西在住の同窓生の近畿同
窓会への入会にご協力を願いたく、ご
紹介・声掛けをお願い致します。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
「会報第17号」をお届け致します。
今回の会報にご寄稿くださいまし
た皆様方に厚くお礼申し上げます。
今後さらに充実した紙面
づくりのために努力してまいり
ます。今後ともよろしくお願
い致します。

(広報委員会)